

## めくったり 戻したり・・・



### この遊びから育つもの

指先の運動  
興味・発見(認識)  
見る・触るの感触の働き  
好奇心

## 深よみめんごちゃん

腹ばいで少しずつ前に移動することが出来るようになったAちゃん。床に貼っているバスの仕掛け扉に興味を示し、少しずつ移動してバスの窓を開けたり閉めたりして繰り返し遊んでいました。そして、遊びながら「あー」「うー」などと喃語を発しています。子どもの目線に合わせて玩具を設置することで、興味を示し、腹ばいや指先の運動などへの発達へ繋げていくことができました。

こんなふうにそだってほしいなあ・・・

発達段階に合った玩具を用意し、保育者も側で見守りながら一緒に遊び、応答的な関わりをして周りへの興味や体を動かす心地よさへ繋がって行ってほしいな。

## やってもいい？



### この遊びから育つもの

言葉のやり取り  
工夫する力  
量・・・多い、少ない  
一緒に活動する楽しさ

連日のイモリ・カエル探しから園庭遊びへとシフトチェンジした子ども達。登園してすぐ「晴れてるから園庭行ける？」と保育士に聞いたり、「〇〇ちゃん、一緒にブランコで遊ぼう」と友達を誘ったりする姿が見られるようになってきました。

園庭では、4・5歳児の砂遊びの影響もあってか、一緒になって砂の感触を楽しむ子どもが多い3歳児。中でもR君は砂場でトンネル作りをしている年長児に興味をもち、その遊びを真似して遊んでいて、4、5歳児が穴を掘ったり水を汲んで流すと、同じように穴を掘ったり水を流しています。さらに水が流れていく様子を一緒に喜び、その場の雰囲気を楽しんでいるようでした。

さらに、穴を掘る際のスプーンやシャベルを使っていたのが、スコップに足を掛けてダイナミックに掘る5歳児の姿を見て同じようにスコップを用意したり、一度に大量の水を運ぶためにお椀をバケツに変えてみたりと用途によって使用する道具を使い分ける姿も出てきました。盛り上がってくると「ここまで伸ばそうよ！」「ここに水をいっぱい持って来て！」などと声を掛け一緒に遊ぶ事を楽しんでいるようでした。

こんなふうにそだってほしいなあ・・・

この遊びを重ねていく中で、言葉の関わりが増えて遊びがどんどん広がり、友達と「一緒に」を楽しんでほしいな。



